

みてみよう! くふうしよう! ちょうせんしよう!

キンダーブック

がくしゅうおおぞら

12月号



「えほん」の街にやってきました。迫力満点の飛び出す絵本や、お話の世界にいざなうような扉もありますね。子どもたちにどんなお話のなかに入りたいかなどを問いかけて、想像力をふくらませましょう。



ふしぎな にんじゃやしき

ねらい 目に見える物が実際とは異なって見える錯視の世界を知り、気づきにつなげましょう。

逆さまにしても人の顔に見えるだまし絵や周囲の要素によって見え方が違う絵の不思議を楽しみましょう。付録のたしかめカードをつかって、目に見えているものと実際の絵の違いを確認しましょう。



見る場所によって見え方が変わる、街にある不思議な絵を紹介します。ほかにも身のまわりに見え方を工夫した物がないか問いかけてもよいでしょう。



もりの おもちゃやさん



ねらい 順序や座標の表現のしかたを知り、親しむことで理解につなげましょう。

つかい方の 直線、またはマス目状に並んだ物の位置を「○番目」と数字をつかって表すことを伝えてから、「○から○番目の物は?」と問いかけましょう。また、シールページでは誌面の問い以外に、絵を見ながらクイズを出してもよいですね。



くふうを いっぱい みつけたよ!



ねらい ユニバーサルデザインについて知り、興味・関心につなげましょう。

つかい方の ふだんついているエレベーターや電車、駅などには、あらゆる人が利用しやすいように配慮されたユニバーサルデザインがあることを知らせます。身のまわりにはほかにどんな工夫があるか、みんなで考えてみてよいですね。

「がくしゅうおおぞら」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
みてみよう! かんぎょう 身のまわりのしくみや不思議を知ろう 「ふしぎな にんじゃやしき」	- 錯視の世界を知る。 - 錯視をじっくり観察する。 - 身のまわりにある見え方を工夫した物に関心をもつ。	- 目に見える物が、実際とは異なる場合があることを伝え、錯視の不思議さに気づけるようにする。 - 錯視を実際に体験することで楽しさを味わう。 - 身のまわりには見え方を工夫した物があることを伝え、ほかにどんな物があるか関心につなげる。	環境 言葉	- 思考力の芽生え - 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 - 社会生活との関わり
ちょうせんしよう! かず 数字や図形に親しみ、算数の基礎を身につけよう 「もりの おもちゃやさん」	- 順序・座標に親しむ。 「○番目」と数字をつかって表現する。	- 順序・座標を知ることによって並んだ物の位置の表し方を身につけられるようにする。 - 並んだ物の位置を「○番目」と数字をつかって表現することを伝え、園内にある物などで身近な例をたくさん挙げて理解につなげる。	言葉 表現	- 思考力の芽生え - 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚